

令和6年度 第2回三戸警察署協議会の概要	
1	開催日時 令和6年10月24日(木) 15:30 ~ 16:15
2	開催場所 三戸警察署 1階講堂
3	出席者 <ul style="list-style-type: none"> ○ 協議会委員 4人 <ul style="list-style-type: none"> 会 長 岩間 文子 委 員 宮木 伯昌 委 員 三浦 恵美子 委 員 山崎 正子 ○ 警察署 8人 <ul style="list-style-type: none"> 署長、次長、刑事生活安全課長、地域課長、交通課長、警備課長、 警務会計課長代理(会計)、 事務局 警務会計課長代理(警務)
4	開会 <p>第1部 外和警察犬訓練所視察</p> <p>第2部</p> <p>(1) 会長挨拶</p> <p>(2) 署長挨拶</p> <p>(3) 議事 <ul style="list-style-type: none"> ○ 警察活動状況と視察について ○ その他 </p> <p>(4) 質疑・応答 <ul style="list-style-type: none"> ○ 交差点や見通しが悪い場所での交通事故は、再事故を防止するため、通行人などによる車の誘導が必要になると思うが、警察官が到着するまでにある程度時間がかかる。 そのような時に近くをパトロールしているパトカーに、地区を越えて応援してもらうことはできないものか。 〔回答〕既に広域連携制度と言って、必要があれば管轄を問わず現場応援する体制があり、実際に運用しています。 また、交通事故現場での交通誘導は危険を伴いますから、負傷者の救護等で必要な場合以外はむやみに行わず、警察官の到着を待つようお願いします。 ○ 交差点での事故当事者がお互いに『信号は青だった』と主張している場合、何時何分何秒にどちらの信号が青だったと算出して判定することはできるのか。 〔回答〕信号機のサイクルはあるが、誤差が生じる可能性も否定できないこと、何時何分何秒に事故が発生したと立証することがそもそも難しいことから、判定することは極めて困難と言えます。 ○ 警察犬が要請を受けて活動する場合、謝金はどのくらい支払われるのか。 〔回答〕1時間3,740円です。 ○ 警察犬の訓練を実際に見て、訓練、飼育、出動など、お金もかかり、大変な仕事であると感じたが、警察犬訓練所には、公的な助成金が支給されるのか。 〔回答〕公的な助成金等はありません。 ボランティアのように協力していただいております。 ○ いつも小中学校の見回りをしてもらい、先生方からも感謝の声が寄せ </p>

られている。

また、三戸署管内で大きな事件もなく、交通死亡事故ゼロ日を継続しているのも、三戸署の皆さんのお陰であると、住民を代表して感謝申し上げます。

〔回答〕住民の皆様からの感謝の声を励みに、今後とも安全・安心を実感できる青森県の実現に努めてまいります。

(5) 会長総括

今回の視察はとても勉強になりました。

今まで、警察犬は警察が持っているものばかり思っていたが、一般の人がこのような形で社会貢献していることがわかりました。

今後とも連携を密にし、活躍して欲しいと願っています。

5 閉会